

高砂市 子ども・子育て・若者支援プラン(骨子案)

子どもの健やかな成長と若者の自立を支え、
安心して暮らせるまちをめざして

令和元年7月
高砂市

全体構成

第1部 計画策定にあたって	1
第1章 計画策定の背景と趣旨.....	1
第2章 基本理念.....	1
第3章 計画の位置づけ.....	1
第4章 計画の期間.....	1
第5章 計画の対象.....	2
第6章 計画の策定体制.....	2
第2部 子ども・子育て支援（第2期高砂市子ども・子育て支援事業計画）	4
第1章 現状・課題と今後の方向性.....	4
1 統計からみる市の現状.....	4
2 計画の主な進捗状況.....	18
3 現状・課題のまとめと今後の方向性.....	19
第2章 計画の基本的な考え方.....	22
1 計画の趣旨.....	22
2 基本的な視点.....	22
3 基本目標.....	22
4 子ども・子育て支援の施策の体系.....	22
第3章 分野別施策の推進.....	23
基本目標1. 地域における子どもや子育て家庭への支援.....	23
1 子育て相談の充実・情報提供機能の強化.....	23
2 子育てを支える地域コミュニティの育成.....	23
3 子どもの健全育成.....	23
4 子育てにかかる経済的負担の軽減.....	23
基本目標2. 親と子の心と体の健康づくり.....	23
1 妊産婦・乳幼児に関する切れ目のない保健対策の充実.....	23
2 成人期に向けた保健対策の充実.....	23
3 食育の推進.....	23
4 小児医療の充実.....	23
基本目標3. 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実.....	23
1 幼児教育・保育の一体的提供と質の向上.....	23
2 生きる力を育む学校教育の推進.....	23
3 多様な体験・交流活動の推進.....	23
4 家庭教育の推進と学校・家庭・地域社会の連携.....	23
基本目標4. 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境の整備.....	24
1 子どもや子育て家庭に配慮したまちづくりの推進.....	24
2 子どもの安全の確保.....	24
基本目標5. 仕事と子育ての両立支援.....	24
1 ワーク・ライフ・バランスの推進.....	24
2 多様な保育事業等の充実.....	24

基本目標6. 配慮を必要とする子どもと家庭への支援.....	24
1 児童虐待防止対策の推進.....	24
2 子どもの貧困対策.....	24
3 障がいのある子どもと家庭への支援の充実.....	24
第4章 事業量の見込みと確保方策.....	24
1 教育・保育提供区域の設定.....	24
2 子どもの人口の推計.....	24
3 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策.....	24
4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策.....	24
第3部 ひとり親家庭等自立促進（高砂市ひとり親家庭等自立促進計画）	25
第1章 現状と課題.....	25
第2章 計画の基本的な考え方.....	25
第3章 施策の推進.....	25
第4部 若者支援（高砂市若者支援計画）	25
第1章 現状と課題.....	25
第2章 計画の基本的な考え方.....	25
第3章 施策の推進.....	25
第5部 計画の推進	25
第1章 計画の推進体制.....	25
第2章 計画の周知.....	25
第3章 計画の進捗管理.....	25
資料編	25
1 計画策定の経緯.....	25
2 高砂市子ども・子育て・若者会議条例.....	25
3 高砂市子ども・子育て・若者会議委員名簿.....	25
4 若者支援・相談窓口案内.....	25
5 用語解説.....	25

第1部 計画策定にあたって

第1章 計画策定の背景と趣旨

※内容検討中

第2章 基本理念

※内容検討中

第3章 計画の位置づけ

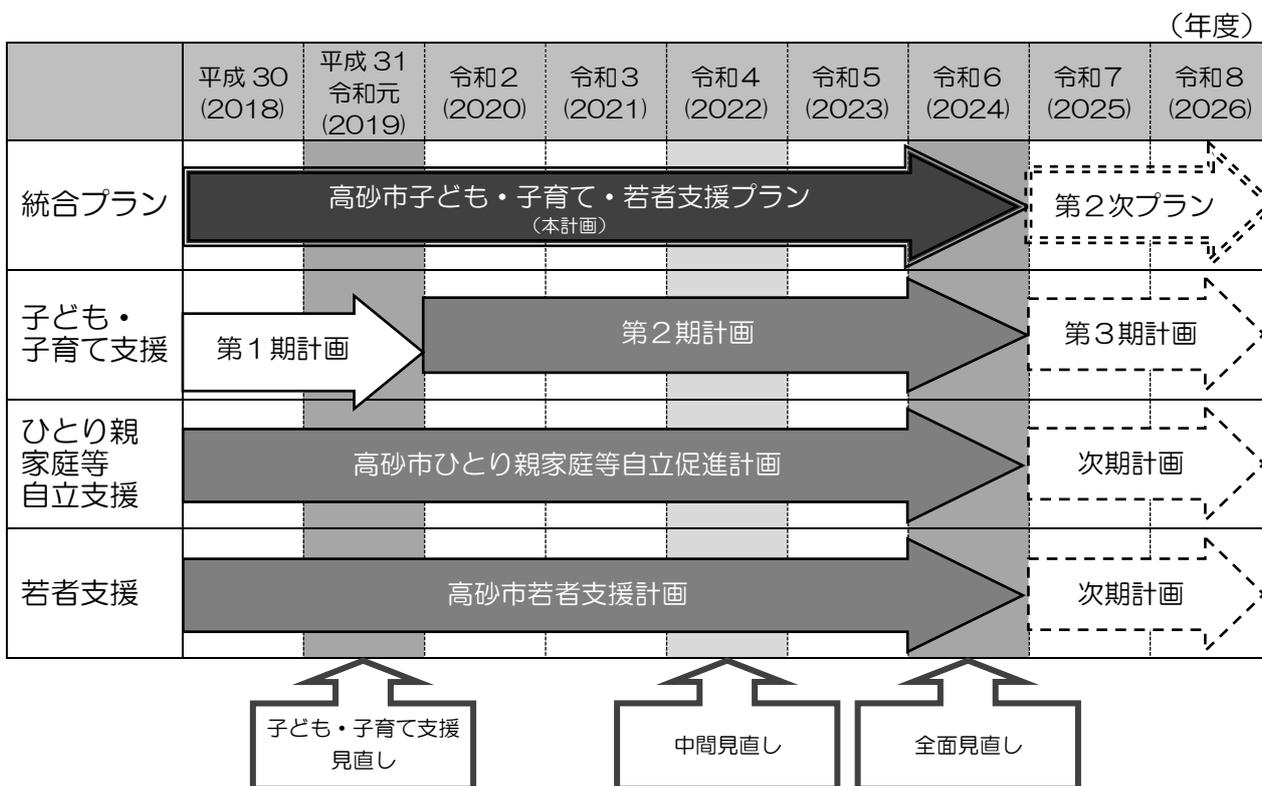
※内容検討中

第4章 計画の期間

本計画の期間は、平成30年度から令和6年度までの7年間です。

令和6年度に「子ども・子育て支援」「ひとり親家庭等自立促進」「若者支援」の全面的な見直しを行います。

また、計画期間中であっても、社会経済情勢や市の状況の変化、子ども・子育て・若者のニーズ等に対応するため、必要に応じて見直しを行います。



第5章 計画の対象

※内容検討中

第6章 計画の策定体制

1 高砂市子ども・子育て・若者会議

本計画に子育て当事者等の意見を反映し、本市における子ども・子育て・若者支援施策を子どもと子育て家庭及び若者の実情を踏まえて実施するため、学識経験者、教育・保育事業者、地域の子育て関係団体・機関等並びに子育て及び若者の当事者で構成する「高砂市子ども・子育て・若者会議」（平成25年高砂市条例第19号）を平成29年4月1日に設置し、計画策定について審議を行いました。

2 アンケート調査の実施

本計画における「子ども・子育て支援」の見直しにあたっての基礎資料を得るため、アンケート調査を実施しました。（調査結果については第2部「子ども・子育て支援」内に記載していません。）

	就学前児童の保護者	小学生の保護者	高校生
① 調査対象	市内の就学前児童（0～5歳児）の保護者	市内の就学児童（小学1～6年生）の保護者	市内公立高校に通学する高校生
② 調査対象者数	4,312人	4,948人	239人
③ 抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出		
④ 調査方法	幼稚園及び保育所、認定こども園に通っている場合は、幼稚園や保育所、認定こども園を通じて配布・回収。上記以外は郵送・回収とし、中間でハガキによる督促状を送付	学校を通じて配布・回収（郵送での提出も可） 中間でハガキによる督促状を送付	各学校から2クラスを抽出し、クラスの生徒全員を対象に学校を通じて配布・回収
⑤ 調査期間	平成30年12月12日～12月21日 (平成31年1月7日回収分まで受付)		
⑥ 調査票配布数	2,093件	1,057件	239件
⑦ 有効回収数	1,613件	959件	239件
⑧ 有効回収率	77.1%	90.7%	100.0%

3 パブリックコメントの実施

市民に計画策定に関する情報を広く提供するとともに、市民の意見を幅広く聴取し、計画に反映させるためにパブリックコメント（意見募集）を実施（予定）。

- 実施期間 令和●年●月●日（●）～令和●年●月●日（●）
- 閲覧場所 子育て支援課、未来戦略推進室、子育て支援センター(高砂・北部)、情報公開コーナー、市民サービスコーナー、市民コーナー、市ホームページ
- 意見提出 ●名（●件）

第1章 現状・課題と今後の方向性

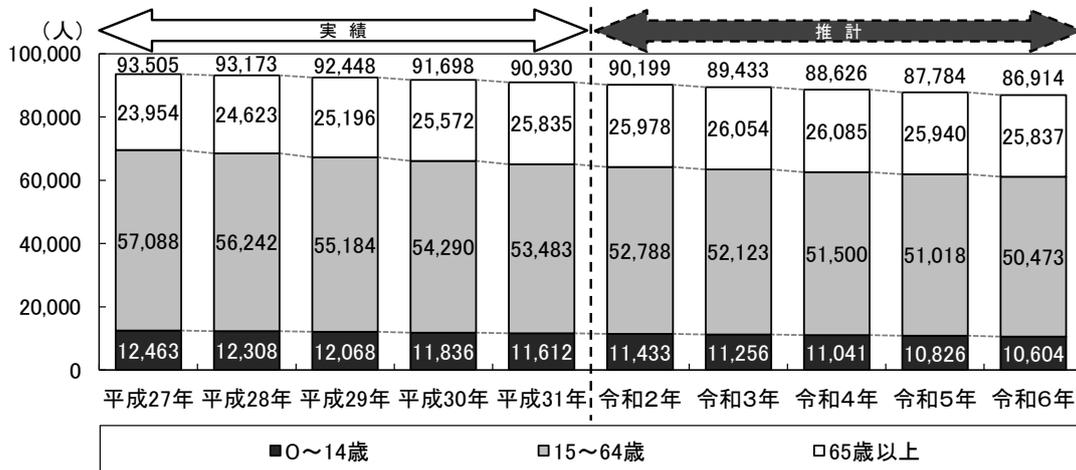
1 統計からみる市の現状

1-1. 高砂市の人口等の状況

(1)人口の推移と将来人口

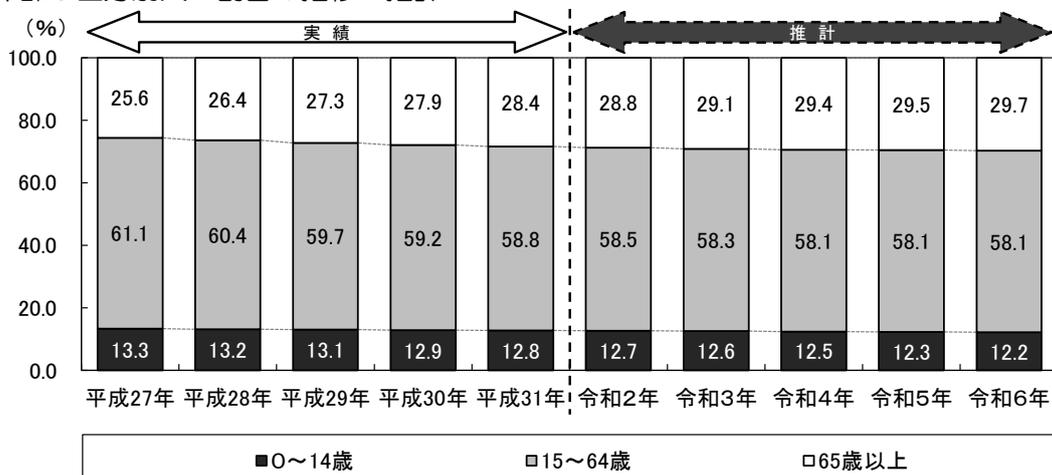
本市の総人口は減少傾向で推移しており、今後も減少が見込まれます。また、年齢3区分別人口の推移をみると、0～14歳や15～64歳は減少傾向にあります。65歳以上は増加傾向にあります。令和5年以降は減少に転じることが見込まれます。

■年齢3区分別人口の推移・推計



また、年齢3区分別人口割合については、0～14歳及び15～64歳の割合は減少傾向にある一方、65歳以上の割合は増加しており、今後、0～14歳は減少傾向、15～64歳はおおむね横ばい、65歳以上は増加傾向で推移することが見込まれます。

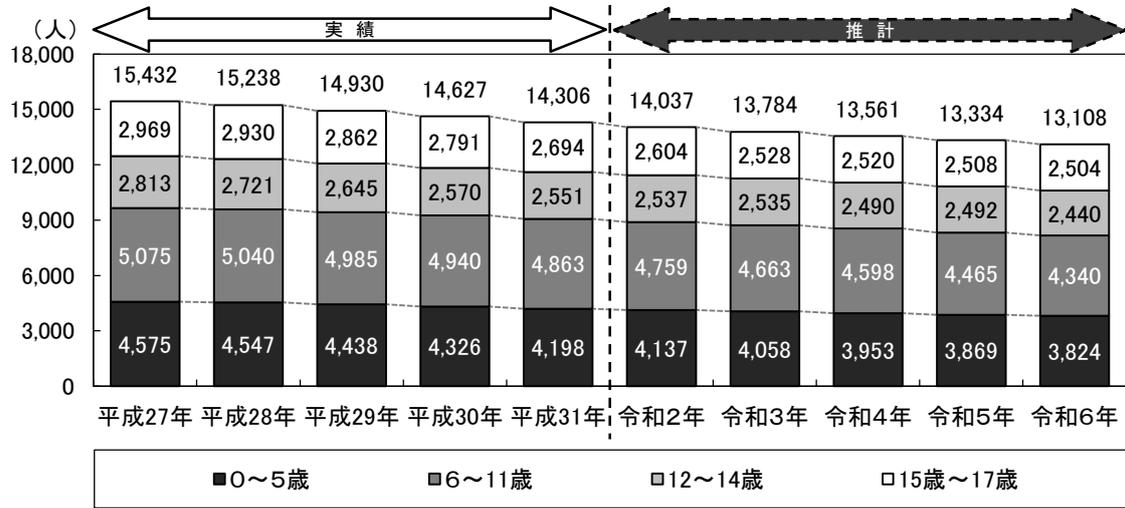
■年齢3区分別人口割合の推移・推計



資料：平成27～31年「住民基本台帳（外国人を含む）（各年4月1日）」
 令和2～6年「平成27～31年の男女別各歳別人口をもとに、1年ごとの変化率を算出し、前年人口に乗じて算出した人口（コーホート変化率法）」

18歳未満の子ども人口についても減少傾向にあり、平成31年では14,306人となっています。平成27年に比べて1,126人減少しています。

■子ども人口の推移・推計

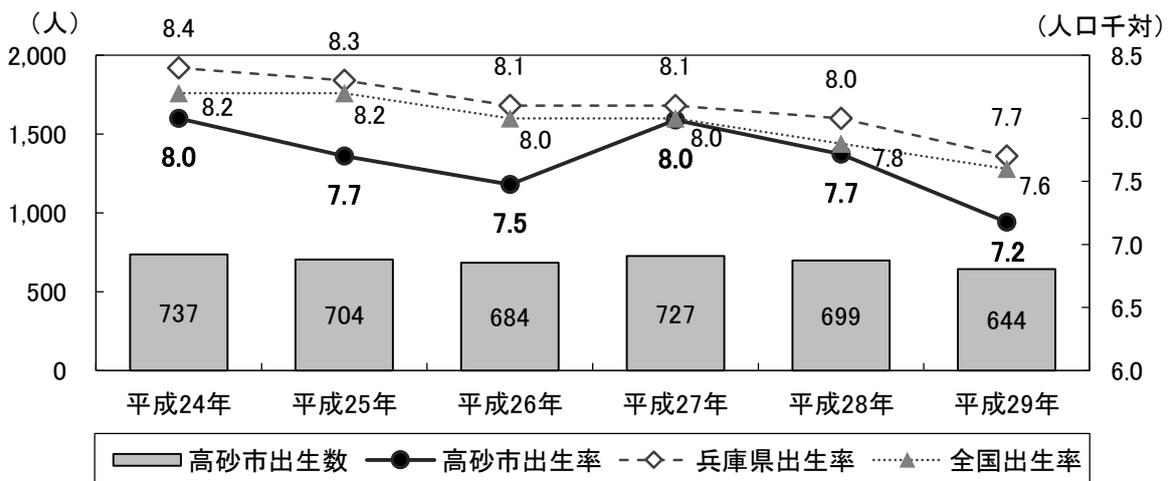


資料：平成27～31年「住民基本台帳（外国人を含む）（各年4月1日）」
 令和2～6年「平成27～31年の男女別各歳別人口をもとに、1年ごとの変化率を算出し、前年人口に乗じて算出した人口（コーホート変化率法）」

(2)出生数の推移

出生数については平成26年から27年にかけて増加に転じましたが、以降は減少が続き平成29年は644人となっています。出生率については、平成27年を除いて、県や全国を下回って推移しています。

■出生数・出生率の推移

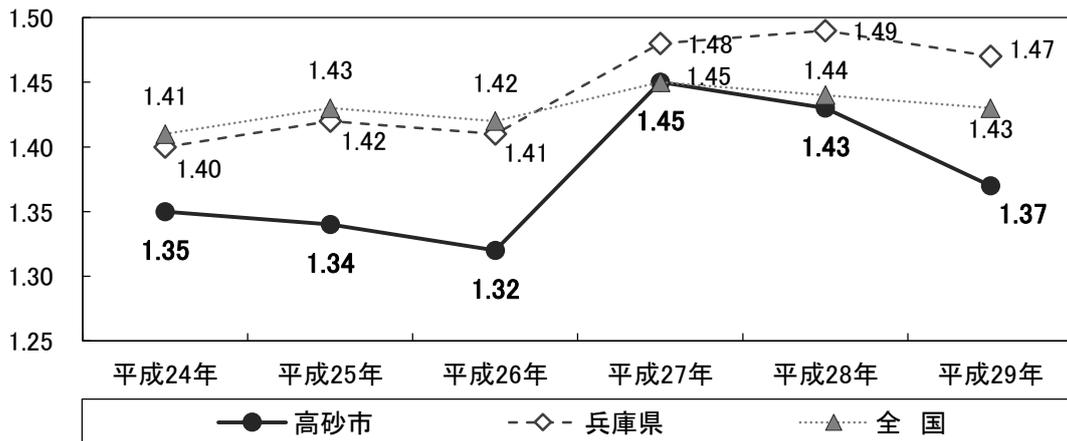


資料：全国・兵庫県「人口動態調査（厚生労働省）」
 高砂市「人口動態調査（厚生労働省）」、
 「兵庫県推計人口（各年10月1日から算出）」

(3)合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率は平成24年から26年まで低下し続け、27年にかけて上昇しましたが、以降は減少傾向で推移しています。平成29年は1.37となっており、県や全国より低い水準となっています。

■出生数・出生率の推移

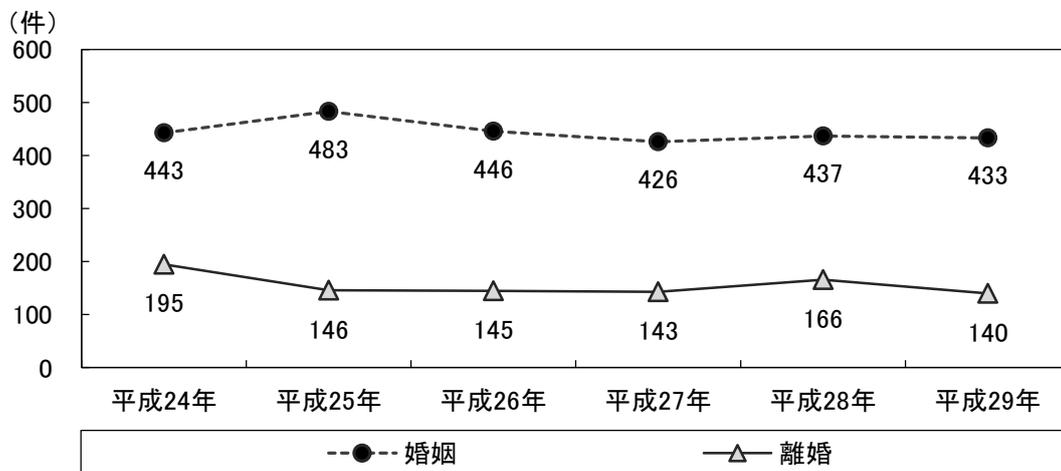


資料：全国・兵庫県「人口動態調査（厚生労働省）」
高砂市「母親の年齢5歳階級別出生数（人口動態調査）」、
「女性の年齢5歳階級別人口（住民基本台帳）」から算出

(4)婚姻状況

婚姻件数、離婚件数についてみると、ともに増減を繰り返しながら推移しており、平成29年における婚姻件数は433件、離婚件数は140件となっています。

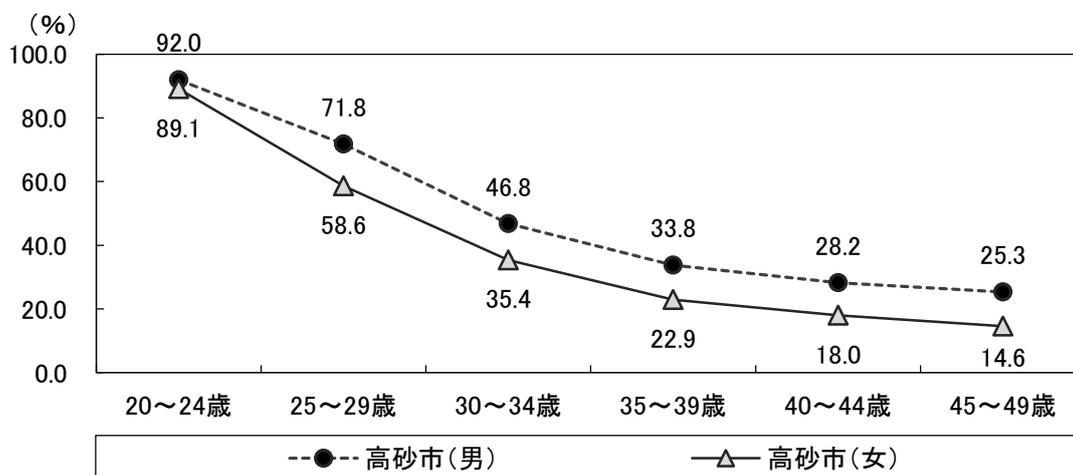
■婚姻件数と離婚件数の推移



資料：人口動態調査（厚生労働省）

平成27年国勢調査による未婚の状況をみると、女性よりも男性の未婚率が高くなっています。45～49歳において、男性では4人に1人が未婚となっています。

■年齢階級別未婚率の状況

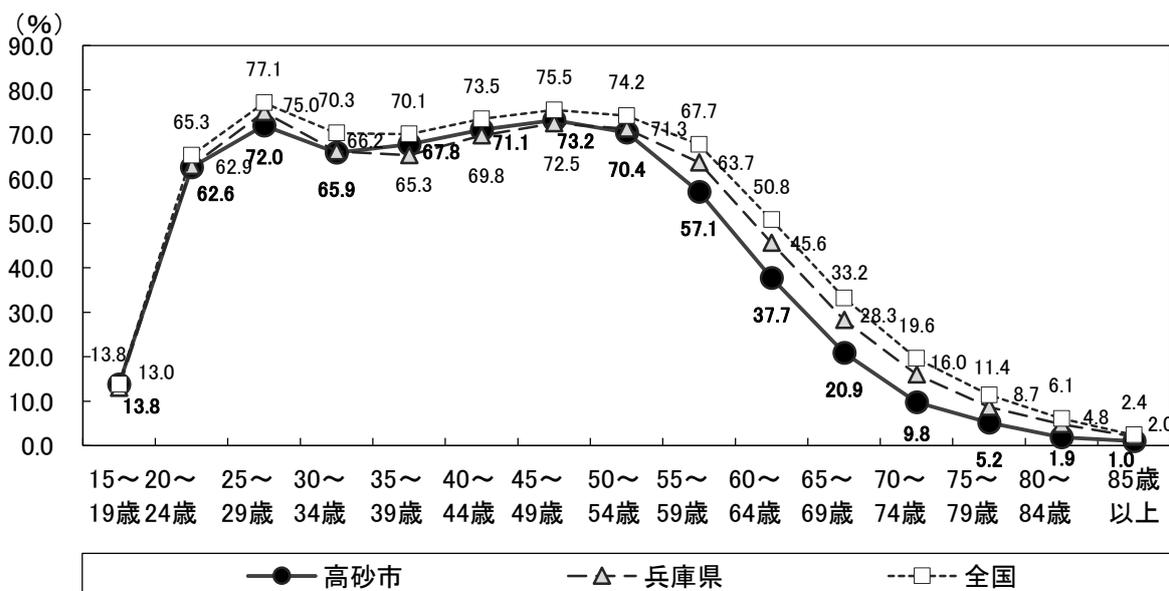


資料：平成27年国勢調査

(5)女性の年齢別就業率

女性の就業率はM字カーブを描いており、出産・育児期にあたる30～34歳で就業率が落ち込んでいます。

■年齢階級別就業率の状況



資料：平成27年国勢調査

(6)就学前児童の状況

就学前児童の状況を見ると、0～2歳は施設に通わずに在宅で過ごしている児童が最も多く、3歳児以上では認定こども園に通っている児童が最も多くなっています。

■就学前児童の状況

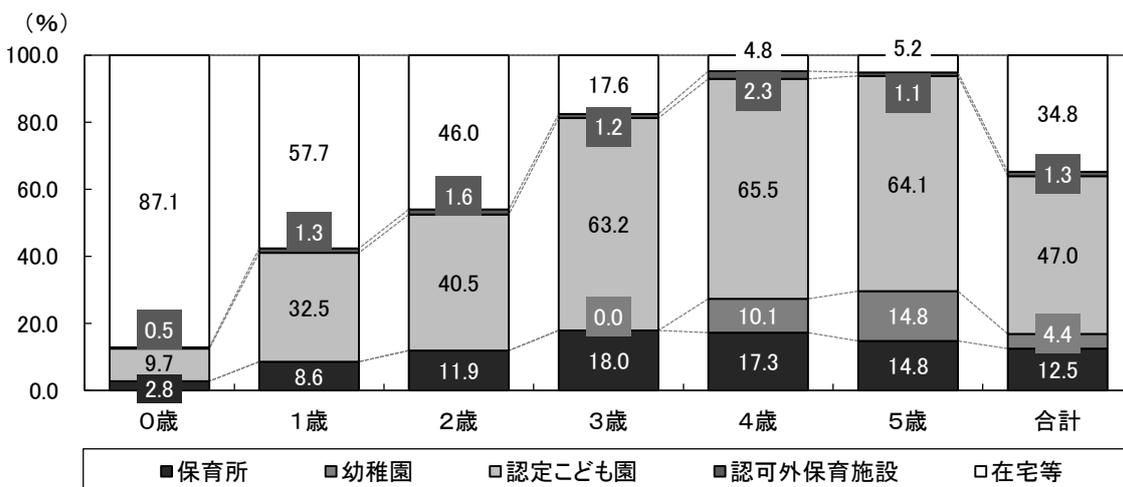
(単位：人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
保育所	18	55	83	133	127	109	525
幼稚園	-	-	-	0	74	109	183
認定こども園	63	208	283	468	481	472	1,975
認可外保育施設	3	8	11	9	17	8	56
在宅等	566	369	321	130	35	38	1,459
就学前児童数	650	640	698	740	734	736	4,198

資料：保育所・認定こども園「幼児保育課（平成31年4月1日）」
 幼稚園「幼児保育課（平成31年4月1日）」
 認可外保育施設「兵庫県（令和元年7月1日）」
 就学前児童数「住民基本台帳（平成31年4月1日）」
 在宅等「就学前児童数から保育所・幼稚園・認定こども園・認可外保育施設の児童数を差し引いた推計値」

注記：保育所及び認定こども園は、市内施設利用者のうち市内に居住する児童数と市外施設を利用する児童数の合計であるため、以降に示す児童数と異なる。
 在宅等には、市外の国立及び私立幼稚園、特別支援学校（幼稚部）に通う児童が含まれる。

■就学前児童の状況

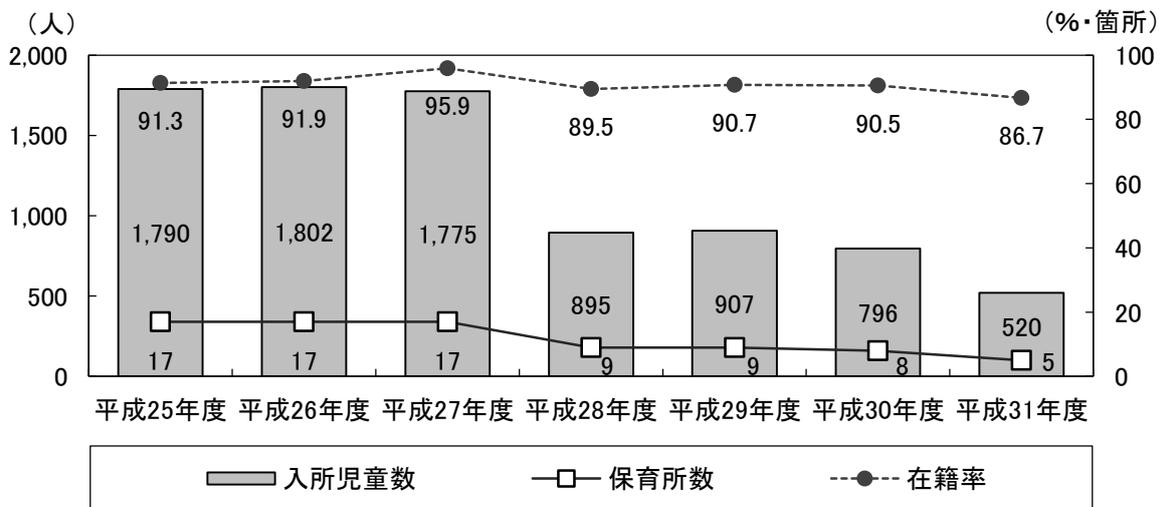


1-2. 保育所・幼稚園・認定こども園の状況

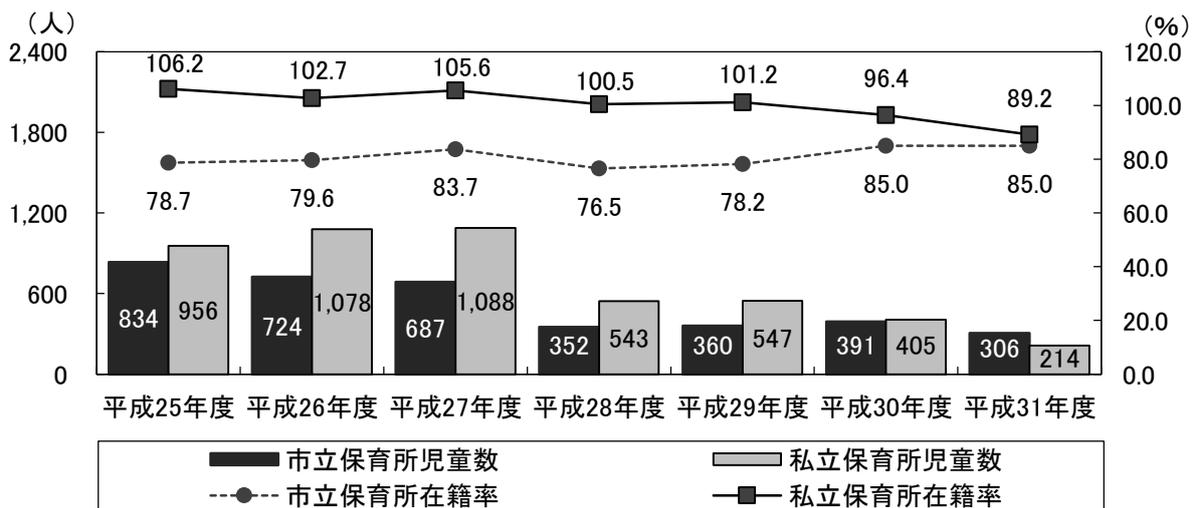
(1) 保育所の状況

本市には、平成31年4月1日現在、市立3か所、私立2か所の保育所があり、入所児童数は520人となっています。平成30年度に私立1か所、平成31年度に市立1か所、私立2か所が認定こども園に移行したため、保育所数、入所児童数ともに減少し、在籍率（定員に対する入所児童数の割合）も86.7%と低下しています。

■ 保育所入所児童数の推移



■ 私立・市立保育所入所児童数の推移



資料：幼児保育課（各年4月1日）」

注記：在籍率＝入所児童数÷定員

入所児童数は市外からの入所児童を含む

■保育所別の年齢別入所児童数

(単位：人、%)

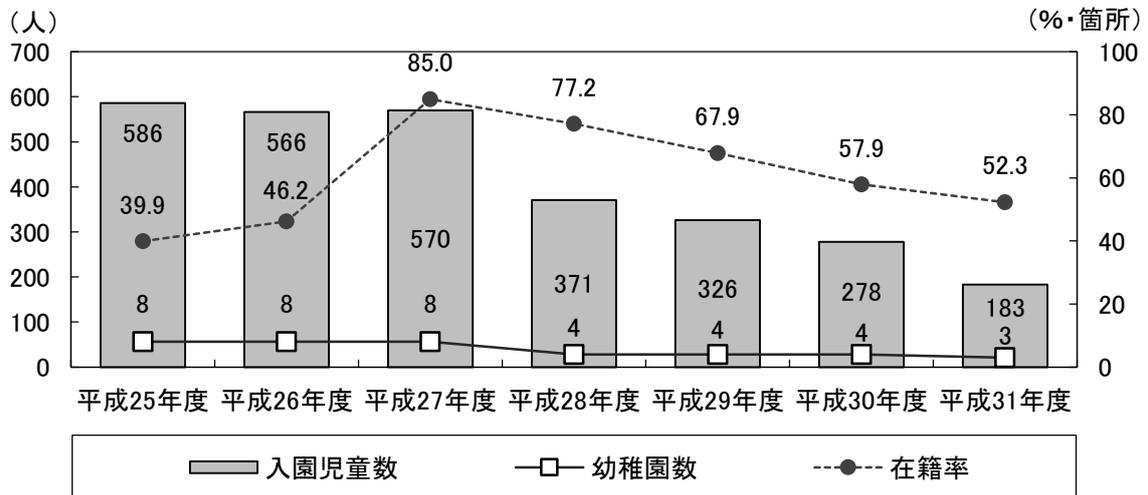
保育所名		定員	入所児童数							在籍率
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	
市立	荒井保育園	110	0	6	17	27	30	18	98	89.1
	曾根保育園	130	0	4	11	20	23	26	84	64.6
	米田保育園	120	2	12	18	34	29	29	124	103.3
	市立計	360	2	22	46	81	82	73	306	85.0
私立	白兔愛育園	90	7	11	14	25	17	18	92	102.2
	米田西保育園	150	6	18	22	30	29	17	122	81.3
	私立計	240	13	29	36	55	46	35	214	89.2
合計		600	15	51	82	136	128	108	520	86.7

資料：幼児保育課（平成31年4月1日）

(2) 幼稚園の状況

本市には、平成31年4月1日現在、市立幼稚園が3か所あり、入園児童数は183人となっています。平成31年度に1か所が減少しています。

■ 幼稚園入園児童数の推移



■ 幼稚園別の年齢別入園児童数

(単位：人、%)

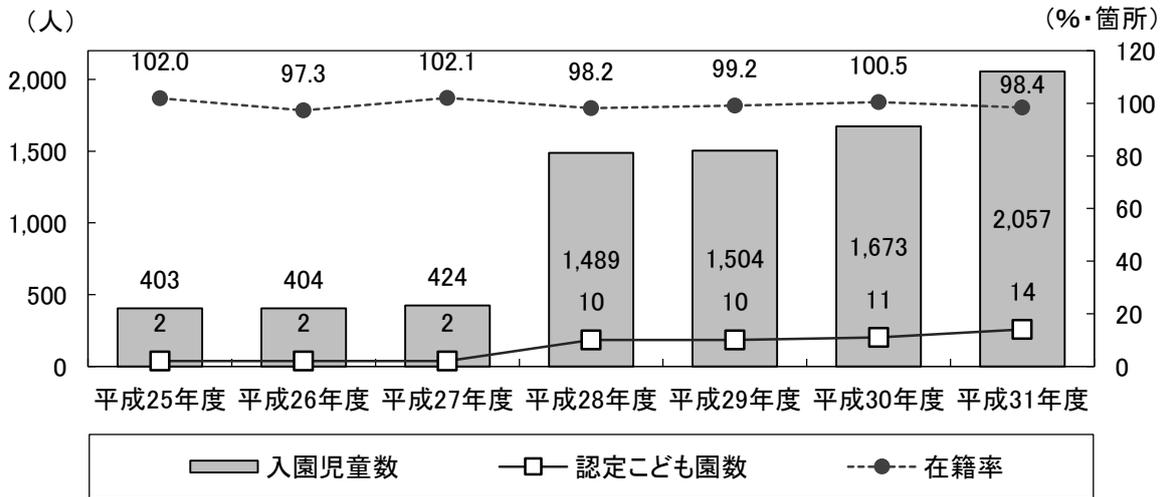
保育所名	定員	入園児童数			在園児率	
		4歳	5歳	合計		
市立	荒井幼稚園	130	18	43	61	46.9
	曾根幼稚園	70	19	25	44	62.9
	米田幼稚園	150	37	41	78	52
合計	350	74	109	183	52.3	

資料：幼児保育課（平成31年4月1日）

(3)認定こども園の状況

本市には、平成31年4月1日現在、市立5か所、私立9か所、合計14か所の認定こども園があり、入園児童数はあわせて2,057人となっています。

■認定こども園児童数の推移



■認定こども園別年齢別入園児童数

(単位：人、%)

施設名	定員	入園児童数								在籍率
		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計		
市立	高砂こども園	160	1	11	16	33	40	44	145	90.6
	伊保こども園	190	0	16	15	37	36	45	149	78.4
	中筋こども園	100	5	8	12	19	14	22	80	80.0
	阿弥陀こども園	160	3	11	16	38	47	38	153	95.6
	北浜こども園	130	4	9	17	25	42	29	126	96.9
	市立計	740	13	55	76	152	179	178	653	88.2
私立	子供の園保育園	135	9	17	25	32	26	25	134	99.3
	真浄寺きくなみ保育園	70	5	11	12	19	11	13	71	101.4
	さいしゅうじこども園	225	5	19	30	45	49	50	198	88.0
	正蓮寺こども園	205	9	18	28	51	54	55	215	104.9
	真浄寺保育園	135	4	13	27	33	34	33	144	106.7
	美保里こども園	155	4	23	24	34	41	41	167	107.7
	聖パウロこども園	115	5	10	16	39	34	43	147	127.8
	みどり丘こども園	160	6	20	28	50	32	39	175	109.4
	中筋保育園	150	3	20	29	36	39	26	153	102.0
	私立計	1,350	50	151	219	339	320	325	1,404	104.0
合計	2,090	63	206	295	491	499	503	2,057	98.4	

資料：幼児保育課（平成31年4月1日）

(4)認可外保育施設の状況

本市には、平成31年4月1日現在、認可外保育施設は7か所あります。

■認可外保育施設の概要

(単位：人)

	施設名	開所時間	定員
事業所内保育施設	高砂市民病院 院内保育園ひまわり	7:30~18:00	20
	わくわくキッズはんぎ	7:30~18:30	9
その他の 認可外保育施設	メリーGOランド	8:00~17:00	69
	すくすくひろば	8:00~18:00	12
	ちびっこランド 高砂園	7:30~19:00	30
	おうち保育園 たんぽぽ	8:30~18:30	2
	ちびっこランド 高砂北園	7:00~20:00	19

資料：兵庫県（平成31年4月1日）

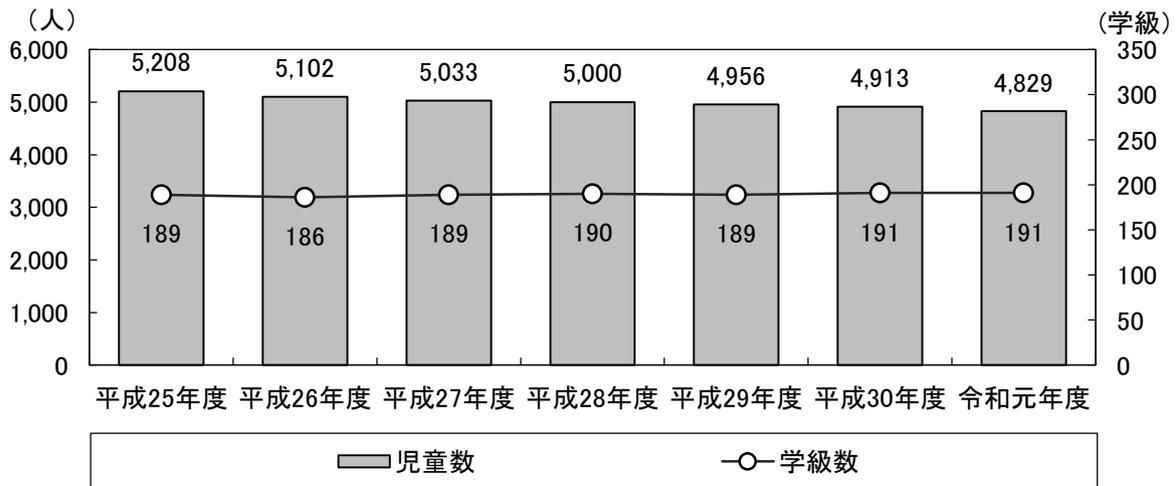
1-3. 小学校・中学校の状況

(1) 小学校の児童数と学級数の状況

本市の小学校は、令和元年5月1日現在、市立が10校あります。

小学校の児童数は減少傾向にあり、令和元年度で4,829人となっています。平成25年度と比較して379人(7.28%)減少しています。

■ 小学校児童数の推移



■ 小学校別学年別児童数

(単位：人)

学校名		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
市立	高砂小学校	64	59	57	56	63	58	357
	荒井小学校	106	139	144	137	146	124	796
	伊保小学校	81	80	71	85	85	98	500
	伊保南小学校	49	53	54	42	48	54	300
	中筋小学校	43	38	46	49	43	44	263
	曾根小学校	90	108	98	100	119	116	631
	米田小学校	132	97	131	126	114	124	724
	米田西小学校	90	69	82	79	64	68	452
	阿弥陀小学校	80	99	95	89	94	90	547
	北浜小学校	29	38	53	37	47	55	259
合計		764	780	831	800	823	831	4,829

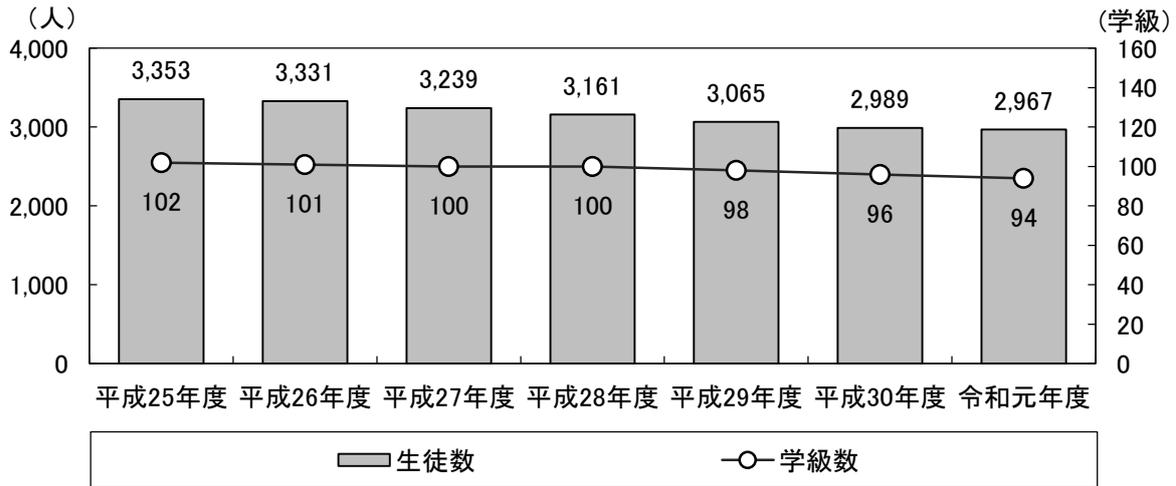
資料：学務課（令和元年5月1日）

(2) 中学校の生徒数と学級数の状況

本市の中学校は、令和元年5月1日現在、市立6校、私立1校、あわせて7校あります。

中学校の生徒数も減少傾向にあり、令和元年度で2,967人となっています。平成25年度と比較して386人(11.5%)減少しています。

■ 中学校生徒数の推移



■ 中学校別学年別生徒数

(単位：人)

学校名		1年生	2年生	3年生	合計
市立	高砂中学校	66	64	54	184
	荒井中学校	151	161	158	470
	竜山中学校	102	96	99	297
	松陽中学校	158	163	165	486
	宝殿中学校	203	155	195	553
	鹿島中学校	137	148	123	408
	市立計	817	787	794	2,398
私立	白陵中学校	196	184	189	569
	私立計	196	184	189	569
合計		1,013	971	983	2,967

資料：学務課（令和元年5月1日）

(3)小・中学校の不登校等の状況

平成30年度の不登校は、小学生で37人、中学生で119人となっています。

不登校について、平成26年度以降の推移をみると、小学校では平成27年度以降、減少傾向にありましたが、平成29年度から30年度にかけて大きく増加しています。中学校では平成26年度以降、減少傾向にありましたが、小学校と同様、平成29年度から30年度にかけて増加しています。

■不登校等の状況

(単位：人、件)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	不登校	25	31	25	20	37
	長期欠席	40	43	47	63	59
	いじめの件数	133	113	80	270	460
	スクールカウンセリング 件数	478	389	410	502	313
中学校	不登校	98	92	89	87	119
	長期欠席	113	117	114	117	143
	いじめの件数	55	64	50	171	93
	スクールカウンセリング 件数	982	1,185	947	934	1,093

資料：学校教育課、青少年センター

1-4. その他の状況

(1) 相談事業の状況

本市の主な相談事業は、子育て支援課が実施している「家庭児童相談」及び「子育て相談」、健康増進課が実施している「子どものからだ・こころ・ことば相談」、高砂児童学園が実施している「マミーサポート」、教育委員会が実施している「高砂市教育相談（※「のびのび教室」を含む）」があります。

相談件数は、平成30年度で合計5,720件と、平成26年度と比べると大きく増加しています。また、虐待に関する相談件数は、増減を繰り返しながら推移しており、平成30年度で62件となっており、内容としては「心理的虐待」が最も多くなっています。

■ 主な相談事業の概要と相談件数の推移

(単位：件)

事業名称または実施場所	内 容	相談件数				
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家庭児童相談 (子育て支援課)	気軽な相談から、児童虐待に関する相談などに対応 月～金、8:30～17:00	1,844	2,802	4,533	5,526	5,003
子育て相談 (子育て支援課)	臨床心理士による個別相談 月2回 13:00～15:30	68	55	89	75	52
子どものからだ・ こころ・ことば相談 (健康増進課)	乳幼児発達相談 月3回	527	534	534	525	502
マミーサポート 幼児保育課 (高砂児童学園)	発達相談 月～金 9:00～16:00	35	30	32	80	81
高砂市教育相談 (教育委員会) ※「のびのび教室」を含む	教育全般にかかる相談 月～金、9:00～16:00	81	81	100	77	82
合 計		2,555	3,502	5,288	6,283	5,720

注記：上記事業以外に兵庫県が実施している相談事業があります。

■ 虐待相談新規取扱件数の推移

(単位：件)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ネグレクト	22	3	17	6	4
身体的虐待	19	12	10	31	24
性的虐待	1	2	1	0	1
心理的虐待	15	6	10	44	33
合 計	57	23	38	81	62

資料：子育て支援課

2 計画の主な進捗状況

2-1. 基本目標別の達成状況

第1期計画で推進してきた事業について、事業担当課で達成度の自己評価を行いました。延べ188事業中186事業（98.9%）がSまたはAの評価となっています*。

基本目標別に平均点を算出すると、「5. 仕事と子育ての両立支援」が最も高くなっており、次いで「3. 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実」「6. 配慮を必要とする子どもと家庭への支援」が2.05で並んでいます。

※平成30年度の評価シートから、評価段階を5段階から4段階へ変更しました。

■第1期計画の達成状況（平成30年度）

基本目標	事業数	達成度別 事業数				平均点
		S	A	B	C	
1. 地域における子どもや子育て家庭への支援	37	1	36	0	0	2.03
2. 親と子の心と体の健康づくり	27	0	27	0	0	2.00
3. 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実	42	3	38	1	0	2.05
4. 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境の整備	27	0	26	1	0	1.96
5. 仕事と子育ての両立支援	18	4	14	0	0	2.22
6. 配慮を必要とする子どもと家庭への支援	37	2	35	0	0	2.05
合計 ()内は構成比	188 (100.0%)	10 (5.3%)	176 (93.6%)	2 (1.1%)	0	2.04

※評価内容 S：予定以上に進捗している (3点)
 A：予定通り進捗している (2点)
 B：遅れている (1点)
 C：事業を廃止 (0点)

3 現状・課題のまとめと今後の方向性

基本目標1. 地域における子どもや子育て家庭への支援

子どもの成長・発達や食事、病気についてのことから、教育や友だちづきあいまで、子育ては日々悩みの連続です。

本市では、子育て支援センター（高砂）や北部子育て支援センターを子育て支援の拠点施設として位置付け、相談・支援事業の充実を図るとともに、家庭児童相談や心理士等専門職による保育所等への巡回相談など、子育て家庭への相談の充実・情報機能の強化に取り組んできました。

その一方で、子育てを支援するための様々な取り組みについての認知度をアンケート調査でうかがったところ、その認知度は半数に満たないことが明らかになりました。

核家族化やライフスタイルの多様化、地域のつながりの希薄化などにより、周囲から家庭が孤立してしまう状況が全国的にみられますが、支援の不十分な家庭では育児にストレスを感じたり、経済的な困難に直面したときにうまく対応できないといった事態にもつながります。地域の子育て支援拠点をはじめとする、本市の豊富な支援サービスの積極的な情報発信とその活用とともに、地域子ども・子育て支援事業による取り組みを充実させ、利用しやすいように拠点づくりを進めていくなど、地域ぐるみで子どもと子育て家庭を支え、子育て家庭が安心して子どもと向き合い、子どもがすくすくと育つことができる環境づくりを進めることが求められています。

基本目標2. 親と子の心と体の健康づくり

本市では、平成 29 年度に高砂市子育て世代包括支援センターがオープンし、それに伴い、プレママサロンや利用者支援事業、10 か月児健康診査をはじめました。また、平成 27 年度から妊婦歯科健康診査、平成 28 年度には子どもを希望する人への支援として不妊・不育症治療費助成事業を開始しました。平成 27 年度、平成 30 年度と段階的に妊婦健康診査費の助成を増額し、妊婦健診の助成券がそのまま使用できる医療機関等を兵庫県内とすることで広域化を図りました。

さらに同年度、産後も安心して子育てができるよう支援する産後ケア事業をスタートするなど、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実を進めています。

今回実施したアンケート調査からは、就学前児童の母親の半数以上が妊娠中あるいは出産後、精神的に不安定になったことがある（「よくあった」と「時々あった」の合計）と答えています。5 年前に実施した調査と比較すると 4.3 ポイント減少しています。

引き続き、親と子の心と体が健やかに育まれる環境づくりとともに、子どもを希望する人が安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりが求められています。

基本目標3. 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実

国においては「小1の壁」の打破が重点課題に掲げられており、幼児教育・保育の質の向上は重要な課題であるといえます。

本市では待機児童ゼロを堅持し、また、幼児教育・保育の一体的提供と質の向上に向け、市立幼稚園と市立保育所の認定こども園への移行を推し進め、私立保育所の認定こども園への移行促進に向けて取り組むとともに、認定こども園への移行に合わせて、3歳児教育を実施してきました。

そのような中、今回実施したアンケート調査からは、認定こども園を利用している保護者、利用を希望している保護者の中でも、半数近くが認定こども園のメリットを「幼児教育と保育を総合的に受けることができるから」と捉えています。また、保育士の確保や従事者の資質向上にも取り組み、充実を図りながら、多様化するニーズに対応するため幼児教育・保育の質のさらなる向上が求められます。

また、小学生児童の保護者のアンケートからは、4割以上が「勉強や進学のこと」で日頃悩んでいると回答しており、教育環境の充実は要望が高い問題であることがうかがえます。本市では平成30年度に小中学校の9年間を通した学びと育ちの連続性をめざした「高砂市小中一貫教育」をすべての小中学校に導入しました。

今後とも、学校教育のさらなる推進とともに、市の特色を生かした体験・交流活動を進めることにより、子どもの「生きる力」を育てていくことが求められます。さらに、家庭の教育力の向上とともに、学校・家庭・地域社会の連携を進めていく必要があります。

基本目標4. 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境の整備

近年、子どもが巻き込まれる事件・事故が大きな社会問題となっています。さらに、人為的な危険だけでなく、自然災害等の危険から子どもたちの身を守るための取り組みが求められており、行政に寄せられるニーズは複雑・多様化しています。

また、今回のアンケート調査からは、就学前・小学生保護者ともに「子どもだけで安心して遊べる場所づくり」が子育て支援でもっと力を入れてほしいこととして挙げられており、就学前の保護者で6割半ば、小学生の保護者で7割となっています。

本市では、次代を担う子どもたちの可能性を伸ばすべく、「まちの魅力アップ」による環境整備に取り組んでいることから、引き続き、子どもの安全確保をはじめ、公園・緑地の確保や歩道や公園等のバリアフリー化の実現に向けて取り組むなど、子どもや子育て家庭に配慮したまちづくりを進めていく必要があります。

基本目標5. 仕事と子育ての両立支援

全国的に人口減少社会が到来するとともに、少子化の進行は深刻なものとなっています。少子化の歯止めとなりうるワーク・ライフ・バランスの実現が一つの課題となっている中、本市では、男性の子育てへの参加を促すべく、男女平等意識の啓発を進めるとともに、男性の意識改革を図るための各種講座を展開するなどの取り組みを進めてきました。また、子育てしやすい雇用環境の整備に向け、市ホームページを活用した情報提供や職場環境の改善に向けた啓発を行っており、継続的な取り組みが重要になってきます。

今回のアンケート調査では、仕事と子育てを両立していくために有効な支援として、6割半ばの保護者が「延長保育や一時保育、学童保育所などの保育サービス」を回答しています。今後の共働き家庭の増加を勘案すると、地域の状況も踏まえながら、教育・保育の量的拡充はもとより、学童保育のニーズに対応した整備や質の確保を図っていく必要があります。

また、仕事と子育ての両立支援については、母親のみを支援の対象として捉えるのではなく、父親が積極的に子育てに携わることのできる環境づくりを並行して考えることが重要です。さらに、ひとり親家庭に向けたきめ細やかな支援も重要です。

基本目標6. 配慮を必要とする子どもと家庭への支援

家庭や地域を取り巻く状況は変化し続けており、児童虐待や子どもの貧困などに端を発する事件・事故が後を絶ちません。児童虐待については近年、全国的な相談対応件数の増加がうかがえ、年度ごとに過去最多を記録しています。

本市では、児童虐待防止対策を推進するため、子どもの人権尊重に関する普及・啓発を進めながら、発生予防と早期発見に向けた取り組みやネットワークの整備を進めてきました。また、子どもの貧困対策として、「子ども食堂」の立ち上げに関する支援や生活困窮者の自立支援の検討を進めてきました。

一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障する観点から、虐待や貧困など家族の状況、障がい等の事情により、社会的な支援の必要性が高い子どもやその家族を含め、それぞれの事情・状況に応じた適切な支援が求められています。

第2章 計画の基本的な考え方

1 計画の趣旨

※内容検討中

2 基本的な視点

※内容検討中

3 基本目標

※内容検討中

4 子ども・子育て支援の施策の体系

※骨子案の検討状況を踏まえ、素案の段階でお示しします。

第3章 分野別施策の推進

基本目標1. 地域における子どもや子育て家庭への支援

- 1 子育て相談の充実・情報提供機能の強化
- 2 子育てを支える地域コミュニティの育成
- 3 子どもの健全育成
- 4 子育てにかかる経済的負担の軽減

基本目標2. 親と子の心と体の健康づくり

- 1 妊産婦・乳幼児に関する切れ目のない保健対策の充実
- 2 成人期に向けた保健対策の充実
- 3 食育の推進
- 4 小児医療の充実

基本目標3. 子どもの健やかな成長に向けた教育・保育の充実

- 1 幼児教育・保育の一体的提供と質の向上
- 2 生きる力を育む学校教育の推進
- 3 多様な体験・交流活動の推進
- 4 家庭教育の推進と学校・家庭・地域社会の連携

基本目標4. 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境の整備

- 1 子どもや子育て家庭に配慮したまちづくりの推進
- 2 子どもの安全の確保

基本目標5. 仕事と子育ての両立支援

- 1 ワーク・ライフ・バランスの推進
- 2 多様な保育事業等の充実

基本目標6. 配慮を必要とする子どもと家庭への支援

- 1 児童虐待防止対策の推進
- 2 子どもの貧困対策
- 3 障がいのある子どもと家庭への支援の充実

第4章 事業量の見込みと確保方策

- 1 教育・保育提供区域の設定
- 2 子どもの人口の推計
- 3 幼児期の教育・保育の量の見込みと確保方策
- 4 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策

第3部 ひとり親家庭等自立促進（高砂市ひとり親家庭等自立促進計画）

第1章 現状と課題

第2章 計画の基本的な考え方

第3章 施策の推進

第4部 若者支援（高砂市若者支援計画）

第1章 現状と課題

第2章 計画の基本的な考え方

第3章 施策の推進

第5部 計画の推進

第1章 計画の推進体制

第2章 計画の周知

第3章 計画の進捗管理

資料編

1 計画策定の経緯

2 高砂市子ども・子育て・若者会議条例

3 高砂市子ども・子育て・若者会議委員名簿

4 若者支援・相談窓口案内

5 用語解説